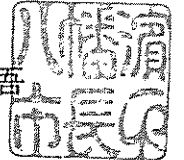




八 建 第 3 2 9 号
平成19年 5月 2日

国土交通省道路局長 様

八幡浜市長 高橋 英吾



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付、国道企第114号にて依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

- ・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

大都市への一極集中が地域間格差を拡大させており、地域の自立と競争力強化には道路ネットワークの形成が重要であります。

特に当市は九州への玄関口として大分県との間に1日20往復のフェリーが就航し年間50万人近くの乗降客があります。

関西方面からは明石海峡大橋を経由しての観光ルートだけでなく、関門海峡ルートと比べ通行料金の安さから利用が日々拡大しており、第2国土軸として利便性が高まっています。

現在、地域高規格道路として四国横断自動車道（大洲）と接続しようとしているものの、3ヶタ国道であり財政的に厳しい県レベルの体力では進捗のスピードが遅く、効果が発揮されるまでに10年弱かかり、高齢者だけが残る過疎拡大地域となってしまうことが懸念されます。

このような広域的にも重要な役割を担う部分に関しては、国が行うべきではないでしょうか。

- ・ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

地域間競争のもと県、また市町がそれぞれの利益のみを追求する施策は結果的に足の引っ張り合いになってしまい、効率的な道路整備とはなりません。

それぞれが協力協調する体制を強化し、他自治体の整備であっても結果的に地元にとって効果があると判断できれば、県境を越えてでも協力する姿勢をもつべきであります。

当市では高知県梶原町の国道197号線改良要望に対して同調しております。九州と高知県を最短距離で結ぶこの道路はそれぞれの発展に寄与し両県にとっても重要と考えるからであります。

- ・ その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関する事

高齢化する道路構造物の延命措置を積極的に行い、戦略的な管理を行う必要があります。

特に本市は海岸部に位置し塩害による老朽化が著しく管理マネジメントを構築する必要があります。

大規模店舗周辺で渋滞が慢性的に起こっている状況にあります。店舗側に対して道路管理者がある程度支援を行い、渋滞を解消するために道路管理者でできること、店舗側でできる事を明らかにし、お互い協力して渋滞解消に努めるとともに、利用客の増加を目的とした調査等ができないものでしょうか。

経済産業省と国土交通省共同の事業の創設が必要であります。